

平成 26 年 第 7 回臨時会

# 岩見沢市教育委員会会議録

平成 26 年 8 月 6 日 開会

平成 26 年 8 月 6 日 閉会

岩見沢市教育委員会

平成26年 第7回臨時会  
岩見沢市教育委員会会議録  
(平成26年8月6日)

○本委員会に付議した議件

- 1 議案第49号 岩見沢市教科用図書の採択について  
そ の 他

○本委員会に出席した者

委 員 長	武 藏 輝 彦
委 員	秋 山 信 也
委 員	大 橋 弘 道
委 員	佐々木 和 子
教 育 長	舛 甚 和 俊

教 育 部 長	名 和 田 勉
子育て支援推進担当次長	鈴 木 栄 基
学 校 教 育 課 長	加 藤 信 浩
指 導 室 長	兼 平 晃 成
事務局学校教育課総務係長	武 田 弘 毅
事務局学校教育課総務係	虎 谷 淳

午後 2 時 0 0 分 開会

○武蔵委員長 ただ今から、平成 26 年第 7 回教育委員会臨時会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、佐々木委員さんをお願いします。

初めに、議案に対する提案理由について説明をお願いします。

○名和田教育部長 それでは、議案第 49 号の提案理由についてご説明いたします。

岩見沢市教科用図書の採択について 平成 27 年度から使用する小学校用教科用図書の採択について、ご審議を願うものであります。

以上であります。

○武蔵委員長 ただ今、説明がありましたとおり、本日の議案は 1 件であります。

それでは、日程番号 1、議案第 49 号 岩見沢市教科用図書の採択について を審議いたします。説明をいただきたいと思えます。

○兼平指導室長 岩見沢市における平成 27 年度から使用する小学校用教科用図書の採択について、ご協議をお願いいたします。

6 月 9 日、第 1 回岩見沢市教科用図書調査委員会を開催し、岩見沢市の平成 27 年度から使用する小学校用教科用図書の選定について諮問いたしました。

調査委員会では、各教科別に小委員会を構成し、その後、約 50 日間にわたり調査研究を行ってまいりました。

7 月 29 日、調査研究の結果について別紙のとおり、調査委員長代行である畠山和彦志文小学校教頭より武蔵教育委員長に答申されたところです。

なお、調査委員会における調査研究にあたりましては、北海道教育委員会作成の採択参考資料、同じく小中学校特別支援学級教科用図書採択参考資料、教科書編集趣意書を参考として、採択基準、調査研究の視点に基づいて調査研究を進めてまいりました。これまでの経過につきましてはお手元の資料に示したとおりでございます。

それではさっそくですが、平成 27 年度から使用する小学校用教科用図書の採択に関わりまして、答申された調査研究の資料に基づいて種目別にご検討、ご協議をいただきたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

○武蔵委員長 はい、ただ今説明がありましたように、7 月 29 日付けで答申書をいただいております。教科書見本をお借りしておりますので、委員の皆さんにはそれぞれ目を通していただいていると思えます。

それでは、教科ごとに進めてまいりたいと思えますので、よろしくをお願いします。

はじめに、国語科について、室長の方から説明をお願いいたします。

○兼平指導室長 最初に国語科についてご説明いたします。

国語科は 5 社の教科書について調査研究いたしました。各社とも国語を尊重する態度を育てるとともに、豊かな言語感覚、伝え合う能力の育成を通して生きる力を育むことを大切にしています。また、言語能力をらせん的、反復的に育成することが求められていることから、身に付いた言語能力について振り返って確認することができるようになっており

ます。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されています。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、国語科につきまして、委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。

○大橋委員 事前に答申書、研究資料等をいただき、また、教科用図書の見本も読ませていただいたところです。私の意見ですが、今回部分改訂により、各社とも児童の言語能力を高めるための工夫がみられるように感じました。

また、物語教材に児童の興味を喚起するものが揃えられておられましたが、その中で私は教育出版と光村図書の物語教材が充実しているように思いました。さらに、新出漢字の取扱いについても、この2社の教科書に良さが見られると感じたところです。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

○秋山委員 どの教科書もきちんと精査をしながら作られていると思います。大きな差異はないように感じますが、使いやすさや新出漢字の取扱い等の点で、教育出版、光村図書が妥当ではないかと思っています。

○武蔵委員長 ありがとうございます。

○佐々木委員 どの教科書もすばらしいように思いましたが、最終的に選ぶとしたら、私も教育出版か光村図書かなと思います。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

2社採用することにはなりませんから、1社を選ぶために教育出版と光村図書に絞って意見をお伺いしたいと思います。

大橋委員さん、どうですか。

○大橋委員 はい、私の意見を述べさせていただきます。

2つの会社に絞られたわけですが、私は、教育出版の教科用図書が、漢字づくりノートなどが工夫されていて、基礎、基本の習得において丁寧な取扱いになっているなど思いました。また、5年生、6年生については、これまでどおり、分冊の方が現在の児童の実態に合っているのではないかなと思います。

以上のことと併せて、これまでの教材研究の積み重ねがあるということを含め、私は教育出版の教科用図書がよろしいと考えたところです。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

○秋山委員 高学年が分冊になっているという点では、合冊も増えてきているというふうに聞いておりますけども、やはり、今までどおりの分冊の方式の方が、子どもたちが取り扱いやすいというような感じがしております。そういう点で教育出版の方がいいのかなと思います。

○武蔵委員長 はい。

○佐々木委員 私の意見ですが、光村図書は、教材の全体の構成ですとか排列について非常に工夫されていて、自主的な学習活動に取り組めるような内容になっていると思います。あと、ローマ字表も学年ごとに書かれていて、非常に親切だなと思いました。教育出版は、漢字の広場というところで、漢字の習得や定着に対して非常に工夫されていたり、読むことの手引きという單元ごとのまとめで、ノートへのまとめ方などが非常に分かりやすく作られていると感じました。子どもたちに分かりやすいという点を重視すると、教育出版の方がいいのかなと思います。

○武蔵委員長 ありがとうございます。

3人のご意見は教育出版ということでしたが、私の個人的な意見を少し述べさせていただきますと、どちらの出版社もすばらしい題材を取り上げているようでいいのですが、光村図書の方が、單元ごとの目標というのがすごくはっきりしているように感じました。1つの題材で、いろんなことを学べるのだと思いますが、それをあまり幅広くし過ぎると焦点がぼやけるということも起こりうるので、そういった点では、的を絞った形で教科書としてまとめられていて良かったかなと思います。

合冊となると重たくなってしまいうわけですが、後ろの漢字表を見ると、より多くの漢字がまとまっていて振り返った学習ができるようになっているので、辞書を使わなくてもよいという面もあるのかなということを感じていました。

ただ、皆さんの意見を聞くと、特に大橋委員さんが言っておられましたように、これまでの教材研究の積み重ねといった点や、子どもの立場で使いやすいということを考えますと、教育出版がいいだろうということになるろうかと思いますが、このようにまとめさせていただいてよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、国語科につきましては、教育出版に決定をさせていただきます。

続きまして、書写に移りたいと思います。説明をお願いします。

○兼平指導室長 国語科書写について説明いたします。

国語科書写は6社の教科書について調査研究いたしました。

各教科書とも書写の基礎、基本、それから学ぶ手本として、学習のしやすさや意欲を高める工夫、主体的に学習できるように工夫した教材構成になっております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、書写につきましてご意見をいただきたいと思います。

○秋山委員 どの教科書を見てもよく作られており、本当にどれを選んでも遜色ないだろうというふうに思っております。

あとは、基礎から学びやすいように低学年であれば鉛筆の持ち方について記載されてい

るなどの点において、教育出版が丁寧に作られているのかなというふうに感じました。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございました。

○大橋委員 子どもたちの書写の力を高めるために、視覚化についても工夫して編集されているなと思いました。

特に私が注目したのは、各課題において筆順をしっかりと示しているという点と、筆の穂先の動きをより子どもたちに分かりやすいように視覚化して表現している点でありまして、教育出版と光村図書の教科用図書が優れていると思いました。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

○佐々木委員 光村図書の教科書は、先ほど大橋委員がおっしゃられたように、穂先の動きもすごく分かりやすく、丸、三角がついていたりして、子どもたちにはすごく分かりやすいのではないかなと拝見させていただきました。

ただ、教育出版は学習の目当てが非常にはっきり明示されておりましたし、全ての課題において筆順の番号が付いておりました。それから、教材が教科書と関連していることが多く、指導する方も計画を立てやすいのかなと考え、教育出版の方が良いと思いました。

○武蔵委員長 はい。大体皆さん、教育出版と光村図書の2社に絞られているようですね。

○大橋委員 先ほどの意見に付け加えさせていただきますと、筆順の指導などにおいて、硬筆も毛筆も、基礎、基本の指導において丁寧に扱われているのは教育出版の方だったこと、また、教材研究の成果を考慮すると、教育出版の教科書で良いというふうに考えているところです。

○武蔵委員長 はい、分かりました。皆さんの意見を総合すると、教育出版を選んだ方がよいという形になろうかと思いますが、よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、書写につきましても教育出版ということで決定をさせていただきます。

続きまして、社会科に移ります。説明をお願いします。

○兼平指導室長 社会科についてご説明いたします。

社会科は4社の教科書について調査研究いたしました。各教科書ともに基礎、基本の確実な定着を図るとともに、児童の興味、関心を活かした自主的、自発的な学習が進められるよう工夫構成されております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それでは委員の皆様から社会科について、ご意見をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。佐々木委員さん、どうですか。

○佐々木委員 はい、社会科は各社写真やイラストにより、分かりやすくまとめていて迷ったのですが、日本文教出版の教科書には、学び方調べ方コーナーというものがあって、

非常に手順が詳しく説明されているのが分かりやすいなと思ったことと、振り返ってみようというコーナーでは、各テーマを振り返りながら、その主体的な学習が取り上げられているという点が非常に良いと思いました。

それから、教育出版では、北海道の地域素材を掲載しているページですとか、領土に関する内容を取り上げているページ数が一番多かったということと、学びの手引きという中に調べ方ですとか見方が説明されており、それが振り返って学習する時に、問題形式になっているということもあり、学力が定着しやすいのかなと思いました。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

○大橋委員 社会科の教科書では、大判の良さを生かしてイラストや写真、表などを効果的に取り入れていて、児童の興味、関心を喚起するよう工夫されているような印象を受けました。中でも、特に学習の進め方を分かりやすく示していたり、特設ページの取扱いにおいて配慮されていると思われるのは、教育出版と日本文教出版の教科書であったかなと思っております。

さらに、教育出版の教科書では、まとめる、深めるというところで、児童の立場に立った取扱いになっていて、学習の確実な定着に好ましいように感じたところです。

それから北海道に関することについては、佐々木委員と同様の意見を持ちました。加えてアイヌの人たちにかかる取扱いについては、他社との違いが明確で、この点からも教育出版がよろしいと思っております。

以上です。

○秋山委員 写真等を効果的に取り入れているという観点から、大判の3社に絞られてくるのではないかなと思いました。その中でも、北海道の取組といいますか、そういったテーマを多く取り上げていた教育出版の教科書が良くできていると思います。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

私の意見といたしましては、地理については各社いろいろと工夫していると感じました。歴史の部分については、特に近現代史の満州事変以降の第2次世界大戦等の表現の仕方が、東京書籍、教育出版、光村図書は、どちらかという自虐的とまでは言いませんが、それを引きずるような表現が少し見受けられていたと感じました。一方、日本文教出版は、割と偏らない記述がなされていたのではないかと私は感じます。領土の取扱いにつきましても、各社きちんと取り上げていますが、日本文教出版は北方領土と竹島、尖閣諸島を1つのコーナーでまとめて取り上げ、その違いが分かるように表現されていたということで、いち押しかなと個人的には思いました。

皆さんからの意見を総合しますと、教育出版という声が強いのかなと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、社会科につきましては、教育出版の教科書を採択させていただきます。

続きまして、地図に移ります。説明をお願いします。

○兼平指導室長 はい。地図については、2社の調査研究をいたしました。

地図は、社会科やその他の教科書と一体的に使用することによって効果が一層高まるものであります。子どもが地域を調べる必要な情報が載っていると同時に、見て楽しい地図帳が必要だと考えます。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されているとおりです。

以上です。

○武蔵委員長 はい。では2社ですから、択一的なお話になろうかと思えます。ご意見をいただきたいと思えます。

○佐々木委員 両社とも見やすくなっておりまして、遜色ないかと思えますが、調査項目の観点から考察しますと、自ら進んで考えたり、他の教科などの資料を活用し主体的に学習するために、吹出しや課題に取り組んでいる点では東京書籍が優れているように思います。ただ、他の項目においては、ほとんど帝国書院の方がページの多く取り上げ、説明が詳しくされており、それから、国旗の取扱いについても。帝国書院は、その国、地域ごとに国旗を載せて、そこに説明も付けておりますことから、私は帝国書院の地図の方が良いと思えます。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

○秋山委員 それぞれに良さは出ていると思えますが、全体的な使いやすさでいけば、帝国書院なのかなと思えます。ただ、東京書籍もいろいろと工夫されていて捨てがたく、判断が難しいとは思えます。

○武蔵委員長 はい。

○大橋委員 2つの会社、それぞれに特色が出ておりまして、子どもたちにとって楽しく学習できるのかなというように思っていました。主体的に学習に取り組めるように工夫されておりますので、甲乙つけがたかったのですが、色使いなどにおいても工夫されているということで、帝国書院の地図がよろしいかなと思えます。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。どちらもいろいろ工夫を凝らしていただいているようです。昔の地図帳と比べると情報が盛りだくさんになってきているような印象を受けました。

帝国書院がよろしいという意見が多かったと思えます。それでは、そのように決めたいと思えますが、よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、地図につきましては、帝国書院ということでお願いいたします。

それでは、続きまして算数に移ります。説明をお願いします。

○兼平指導室長 算数科について説明いたします。

算数科は6社の教科書について調査研究いたしました。確かな学力の定着のため、繰り返し学習や振り返り、系統性などに配慮し、基礎、基本の確実な習得が図れるような工夫



が見られます。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、6社ということですが、まずは2社程度に絞っていきたいと思います。皆さんの方から、ご意見がありましたらお願いしたいと思います。

○大橋委員 6社のうち2社に絞るというところで、私は、算数科においては、基礎的、基本的な知識・技能の習得、それから筋道を立てて考え、表現する力などを伸ばすという点とのバランスなどがどうなっているかという観点から考察したところです。そのようなことを考えたところ、教育出版と東京書籍の2社がよろしいかなと思いました。

○武蔵委員長 他の皆さんどうですか。

同じようなご意見ということでよろしいですか。

(「よろしいです」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、教育出版と東京書籍の2社に絞ってこれから進めたいと思います。ご意見を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

○大橋委員 2社のうち、補充的な学習に関する問題の取扱いについて、非常に丁寧さがあるのが教育出版の教科書のように思ったところです。さらに、この会社の教科書は、学習の手引きを設けて、児童の発達段階に応じた主体的な学習をする力を伸ばすように工夫されているなというふうに思ったところです。それで、私は教育出版の教科書を取り上げていただければと思いました。

以上です。

○武蔵委員長 はい、その他いかがですか。

○佐々木委員 はい、2社とも非常に分かりやすくバランスがとれていて良いと思いますが、私が感じた中では教育出版の単元末の問題ですとか、最後の補充問題が非常に分かりやすいと思いました。最後の補充問題では家庭学習用に基本問題とレベルアップ問題がきちんと分かれていて充実しているので、より家庭学習に使いやすくなっているかなと思いました。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。秋山委員さん、どうですか。

○秋山委員 お二人と同じような意見を持ちましたが、より丁寧に作られたのが教育出版なのかなと思います。

○武蔵委員長 そうですか。すいません、私は個人的には教育出版の教科書は丁寧すぎると思いますか、問題の解き方が誘導的すぎるのではというイメージを少し受けました。東京書籍の方がより発展した学習ができると思いますか、その場で自ら考えさせるという部分があるように感じました。

皆さん、教育出版がよろしいということですから、算数につきましては教育出版で決定させていただきたいと思います。

それでは、続きまして理科に移ります。理科について説明をお願いします。

○兼平指導室長 理科につきましては、5社の教科書について調査研究いたしました。

理科は、子どもが自然現象に興味や関心を持ち、心豊かに感じ、考え、実感しながら問題解決の能力や科学的な見方や考え方を獲得できるように編集されております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい。それでは理科について、皆さんの方からそれぞれご意見がありましたらお願いしたいと思います。

ちなみに先に私から意見を述べさせていただきますと、各社分野ごとに強みがあるのかなというような印象を持ちました。どうしても私は化学系の方に目がいてしまうのですが、学校図書は、燃焼の單元において、目先のことだけではなくて、幅広い知識を伝えるためにグラフを用いたりして、化学に対する興味を引き出す工夫がなされているように感じました。東京書籍も、分かりやすいまとめ方をしていたように感じております。

それでは、皆さんから意見をいただきたいと思います。

○大橋委員 5つの会社について、資料を読ませていただいたところですが、ちょっと判断が難しいと感じました。委員長とは意見が異なってしましますが、教育出版と東京書籍の教科書が児童の興味、関心を喚起しているように感じましたし、それから知識を習得するために、科学的な思考力を育成できるように随所で工夫がなされているように思っております。

そして、2つを比べてみたところ、問題解決の流れが分かりやすいという点において、教育出版の方に分があるように考えたところです。特に学習段階を意識して学ぶことができますので、科学的な思考を育むという点から効果的だなというように思いました。さらに、確かめよう、考えようというところにおいて、学習内容の定着を図るための工夫がなされているのは良い点だなと思います。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。佐々木委員さん、お願いします。

○佐々木委員 東京書籍が写真や図などを非常に多く掲載していて分かりやすいというのがあるのですが、教育出版の見どころとして、環境教育などの單元において、北海道に関わる写真の掲載数が多いという点や、問題解決の流れが明確にされていて、その解決の能力を育むための教材が扱われ、生活につながる学びになっている点があげられると思います。私は教育出版が良いと考えております。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

○秋山委員 それぞれに良い部分があるかと思っておりますので、甲乙つけがたいのですが、総合的には教育出版と東京書籍の2社が他の上を行っているのではないかと考えております。

○武蔵委員長 はい。ありがとうございます。

私個人的には、教育出版はそれぞれの単元における進め方は分かりやすいとは思いますが、どうしてだろう、調べてみようという最後の解決のところで、もう少し工夫があるともっと良い教科書になるのではという意見を持ちました。

皆さんの意見では、東京書籍と教育出版の名前が出てきたかと思いますが、秋山委員さんはこの2社ではどちらがよろしいとお考えでしょうか。

○秋山委員 現状の教科書から変わっていくことも必要という視点に立ち考えますと、私は東京書籍が良いかなと思いましたが、あとは委員長にお任せします。

○武蔵委員長 判断が非常に難しいと思うのですが、大橋委員さんと佐々木委員さんがはっきり教育出版がよいという意見を出されておりますので、教育出版ということで決定させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

(「よろしいです」という声あり)

○武蔵委員長 では、理科については、教育出版で決定とさせていただきます。

続きまして、生活科に移ります。ご説明をお願いします。

○兼平指導室長 生活科については、7社の教科書について調査研究いたしました。

生活科は身近な人々、自然、社会などとの関わりについて、おおよそ季節の変化に合わせて、さまざまな例や活動例などを紹介しています。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、それぞれ委員の皆様から意見を伺いたいと思います。

○大橋委員 7つありましたので、興味深く私も資料を拝見したところです。7社とも取扱い内容は、各学年の目標達成に配慮されていますし、内容、構成、排列もよく工夫されていて、本当に、差異が見られなく難しかったのですが、他の教科との関連、他領域、道徳等との関連の点に絞って見ていく中で、教育出版、日本文教出版の教科書の編集が目に留まったところです。

また、光村図書のこの教科用図書のオリジナル本の活用が、児童の学習意欲を高める工夫につながっているのかなという、そんな印象も受けました。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。秋山委員さん、どうでしょう。

○秋山委員 そうですね。内容的には特別大きな違いはないのかなというふうに思いますが、子どもたちが、どのような形で学習していけるかと考えますと、東京書籍、教育出版が単元チェックの欄ですとか、あとは自己評価できるようにされているという点で工夫があると思いました。

○武蔵委員長 はい。

○佐々木委員 生活は多社ありますが、各社すばらしく、低学年にも非常に興味をもって取り扱えるような教科書になっていて、一番困りました。

東京書籍は全体的に非常にまとまっているという感じで、光村図書は写真などがすごく大きくたくさん配置されていて、自主性が育まれるような点が非常に良いと思いました。

啓林館と日本文教出版も最後の方にある、なんでも図鑑とかわくわく図鑑とかいきいき図鑑でまとめて、低学年でも分かりやすいようになっておりました。

あと、教育出版は振り返りやお家でチャレンジなど、家庭学習の確認もできるようなページがあって、それも子どもたちには分かりやすく楽しめるのかなと思って、非常に迷っております。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。沢山名前があがってしまって、絞っていくのが難しくなっています。

○大橋委員 委員長、私は先ほど印象に残った教科用図書を3社述べたわけですが、さらに突き進めて比べていくと、教育出版の教科書には単元チェックの欄があって、また、巻末には学習記録を書くスペースを設け、自己評価のできる工夫がなされていることによって、目標である自立への基礎を養うということに効果的ではないかなというふうに思いました。

あとは、部分的なことかもしれませんが、季節の取扱いの部分で、冬の取扱いにおいて教育出版が他社よりも、北海道岩見沢市の実態に合った写真が多く掲載されておりましたので、その点からも、教育出版の教科書が良いのかなというふうに思いました。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

どのように興味をもって、どのように関わり、感心というものを育てていくかということだと思います。各社工夫されているので、取り上げ方ひとつで良い教科書ばかりだと思うのですが、今、大橋委員さんの方からは教育出版が良いのではないかというお話がありました。いかがでしょうか。教育出版ということによろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 では、生活科につきましては、教育出版ということで決定をさせていただきます。

続きまして音楽に移ります。説明をお願いします。

○兼平指導室長 音楽につきましては、2社の教科書について調査研究いたしました。

音楽は楽しく音楽に関わり、音楽活動を楽しみながら関心を高め、主体的な音楽活動を展開することが必要でございます。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい。それでは音楽について委員の皆さんからご意見伺いたいと思います。

教育出版と教育芸術社の2社になっておりますが、いかがでしょうか。

○佐々木委員 教育芸術社は、音楽づくりの内容が非常に充実していて、自ら、その音楽表現をする、を高められる内容になっているおり、すばらしいと思いました。

道教委調査項目の中の教材数や児童の興味、関心を高めるコラム北海道を素材とした教材の数ですとか、主体的に取り組むというような注目している項目においては、全てにおいて教育出版の方が多く取り上げられていました。また、分かりやすく、我が国の音楽はもちろん、諸外国の多様な音楽文化についても詳しく説明がされているので、教育出版の方がいいと思います。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。秋山委員さん、どうでしょう。

○秋山委員 はい。教育出版の方が、外国の音楽を取り入れていて、いろんなことに興味を膨らませ、関心を高めるための工夫がされていると思います。

○武蔵委員長 はい。大橋委員さん、どうですか。

○大橋委員 私は、資料の中身に触れず、消極的な意見かもしれませんが、学習指導要領では、複数学年の指導内容が一体となっておりますので、学習指導要領が今回現行のままであるということであれば、それに合わせて指導の実態を鑑みると、現行の教科書がいいのかなというふうに思いました。

○武蔵委員長 はい。音楽専科の先生ですと使いやすさというのはまたいろいろあるみたいですが、小学校音楽ということですから、担任の先生が指導するのに使いやすいのはどちらかと考えればいいのでしょうか、中身についてはそれぞれ工夫をして、音楽に対する興味を持たせるといふ部分では遜色はないのかなと感じます。

君が代がどこに載っているのかと思いましたが、教育芸術社は裏表紙をめくるとそこにあるのですが、教育出版はもう少しめくると出てくるという違いがありました。コメントを教育出版はきちんと付けてあったので、載せ方はそれぞれの会社で考えているなというように感じます。

積極的な意見としては、佐々木委員さんが言われたようなことかと思いますが、教育出版ということでもよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは音楽につきましては、教育出版とさせていただきます。

続きまして図画工作科に移ります。説明をお願いします。

○兼平指導室長 図画工作科につきましては、2社の教科書について調査研究いたしました。

図工は教科自体が教師から子どもへの指導というよりも、子ども自体の主体的な学習を奨励しております。造形への関心、意欲、態度、表現過程、題材の目標からそうした子どもたちの活動を支援するような学習内容が排列されております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい。それでは図工につきまして、委員の皆さんから意見をいただきたいと思います。

佐々木委員さん、いかがでしょうか。

○佐々木委員 開隆堂は、学習の内容が実生活、実社会に非常に関連付けられている箇所が多い面が非常に良いと思われましたが、日本文教出版は、ページ数が開隆堂に比べて多いこともあって、造形遊びだとか、いろいろな創作ですとか、たくさんの作品にふれられるようになっていっていると思います。あと、最後の方に材料や用具の説明のところでは、写真が充実していて分かりやすいと思われ、日本文教出版の教科書がいいかなと思います。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

○大橋委員 2社ともに子どもたちが楽しく学べるように細かな工夫がされているので、甲乙つけがたかったのですが、私は造形的な創造活動の基礎能力を養うという点においては、やや日本文教出版の教科書が優れていると思いました。

○武蔵委員長 はい。

○秋山委員 2社とも甲乙つけがたいと思いますが、日本文教出版の方がどちらかというように思います。

○武蔵委員長 はい。日本文教出版がいいだろうというご意見ですが、そのように決定させていただいてよろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、図画工作科につきましては、日本文教出版といたします。

続きまして、家庭科に移ります。説明をお願いします。

○兼平指導室長 家庭科につきましては、2社の教科書について調査研究いたしました。

家庭科は、子どもの日常生活に配慮し、感心や意欲、態度を育てる主体的な学習ができるよう2学年を通して総合的に積み上げられるよう編集されております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、それでは家庭科につきましては、委員の皆様から意見を伺いたいと思います。

ここは佐々木委員さん、ぜひお願いします。

○佐々木委員 どちらも非常に分かりやすい教科書になっていると思います。東京書籍の教科書は書込みができるようなワークシートの部分がより多くて、ノートがなくても教科書で勉強できるように学習しやすくなっているのかなとは思いましたが、家庭科の学習で内容的にまず思いつくのは、調理実習ですとかミシンの使い方ではないかと考えまして、その単元を見てもみましたところ、開隆堂の方が写真も多く流れが分かりやすいと感じました。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。他にご意見ございますか。

○秋山委員 どちらも遜色ないと思いましたので、いつも家事などをなされている佐々木委員さんの意見を尊重したいです。

○武蔵委員長 はい。

○大橋委員 人間関係ですとか家族関係の項目においては遜色がないと思います。調理な

どの項目については、私も経験不足なものですから、いろいろな資料等を読ませていただいたのですが、一長一短があるというふうに示されておりました。1社に絞るために強いて言えば、概括的で申し訳ないのですが、児童の発達段階を考えたり、また、指導の実態を鑑みると、現行教科書を継続するのが望ましいかなと思いました。

○武蔵委員長 はい。皆さんの意見では開隆堂が望ましいのでないかということですが、よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは家庭科につきましては、開隆堂に決定をいたします。

続きまして、保健に移ります。説明をお願いします。

○兼平指導室長 保健については、5社の教科書について調査研究いたしました。

保健は自らの健康づくりや望ましい生活習慣、また、生活環境や疾病構造など、今日的な課題に積極的に取り組む実践的な内容となっております。

それぞれの教科書の特徴的な内容については、答申書に記載されております。

以上です。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

それでは、保健につきまして、委員の皆さんからご意見を聞きたいと思えます。

○大橋委員 5つの会社がありますが、取扱い内容、構成、排列については、5社とも大きな差はなく、また、現在決められてる基準に対応しているように思いました。

その中で、学研の分量が増加しているのが目についたところです。

東京書籍のワイドな紙面や見開き1ページで1時間の指導内容を掲載するといった工夫も印象に残りましたが、学研の教科書の分量が最も増加している点から、子どもの成長を支援しようという姿勢を感じたところです。指導の実態も加味して学研がよろしいかなというふうに思いました。

以上です。

○武蔵委員長 はい。他の委員さんご意見ございませんか。

○佐々木委員 東京書籍と学研が非常に学習の課題の提示がはっきりしていて、そしてまた、まとめ欄ですとか書き込むところなどもあって、非常に見やすいと感じました。

それから、東京書籍は、5、6年では特に、児童の興味、関心を高めるような学習内容を表示したり、関連する情報を多く掲載しているところが非常に良く、あと、広げようという学習内容で、資料もたくさん載っていてよかったです。一方、学研には、もっと知りたい調べたいというコーナーがあるのですが、こちらは非常に現代的な健康課題なども扱っていて、写真も豊富で、新型インフルエンザやインターネットの安全な使い方にもふれ、今の子どもたちには、使い勝手がいいのかなと思いました。また、分量が増加している点もプラス要素かと思えます。

○武蔵委員長 はい、ありがとうございます。

○秋山委員 大きな差異はないのかなと思えますが、学研は今回大幅な増量をしたことで、

様々な新しい問題も取り扱っていることから、学びやすくなっているという印象を受けました。学研がよろしいかと思えます。

○武蔵委員長 はい。皆さん学研が良いというご意見でした。増ページにより内容も充実したという部分もありますから問題ないかと思えます。

それでは、皆さん学研というご意見ですので、保健につきましては学研で決定をさせていただきます。

それでは続いて、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書について説明をお願いします。

○兼平指導室長 学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択につきましては、採択基準に示しておりますように、学習指導要領の主旨を踏まえるとともに、文部科学省検定済教科書及び著作教科書の下学年用、他の障がい用の著作教科書、一般図書から採択できることとなっておりますので、このたびは、それらについての調査研究を進めてきました。

以上です。

○武蔵委員長 はい。こちらについては、指定されている図書から採択できるということですね。

○兼平指導室長 これらについては、答申書には特に問題となるような教科書については指摘されてはおりません。

○武蔵委員長 はい。個別に選ぶということではありませんね。

○兼平指導室長 はい。

○武蔵委員長 委員の皆さんからご意見がありましたらお願いしたいと思います。

○大橋委員 今、補足をされた採択参考資料に示されている図書は、いずれも障がいをもった子どもたちの学習にふさわしいと思っております。

○武蔵委員長 では、別添の2のとおり皆さんの方に資料が示されておりますが、採択参考資料に示された一般図書を採択することで決定をさせていただきたいと思えます。

よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、これで全ての教科用図書については決定をいたしました。

○兼平指導室長 種目ごとに採択いただきました、平成27年度から使用する小学校用教科用図書について、次のように確認をさせていただきます。

国語科、教育出版。国語科書写、教育出版。社会科、教育出版。地図、帝国書院。算数科、教育出版。理科、教育出版。生活科、教育出版。音楽、教育出版。図画工作科、日本文教出版。家庭科、開隆堂出版。保健、学研教育みらい。学校教育法附則第9条教科書はいずれも適当。

以上確認させていただきます。

○武蔵委員長 はい、今、指導室長の方から再度説明していただきましたが、このように



決定ということで間違いございませんか。

(「はい」という声あり)

○武蔵委員長 それでは、このように決定させていただきます。

議案第49号については、以上のとおり決定いたします。

続きまして、その他に移ります。委員の皆さんから何かございませんか。

(「ございません」という声あり)

○武蔵委員長 なければ、事務局からございますか。

(「ございません」という声あり)

○武蔵委員長 ないということでございますので、以上をもちまして、第7回教育委員会臨時会を終了させていただきます。

大変おつかれさまでした。

午後3時11分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第16条の規定により、ここに署名する。

署名委員